

令和5年度 第2回 埼玉県立近代美術館協議会

日時：令和6年2月22日（木）午後2時～

会場：埼玉県立近代美術館 3階 会議室

【目次】

1 令和5年度事業実施状況	P 1
(1) 常設展示事業	P 1
(2) 企画展示事業	P 3
(3) 美術作品収集事業	P 8
(4) 一般向け普及事業	P 10
(5) 美術館の利用促進事業	P 13
(6) 子供向け事業	P 13
(7) 学校との連携	P 16
(8) ボランティア活動	P 18
(9) 「椅子」の有効活用	P 19
(10) 一般展示室の利用状況	P 20
2 令和5年度入館者数一覧	P 23
3 令和6年度事業計画（案）	P 24
(1) 常設展示事業	P 24
(2) 企画展示事業	P 25
(3) 美術作品収集事業	P 28
(4) 一般向け普及事業	P 28
(5) 美術館の利用促進事業	P 29
(6) 子供向け事業	P 30
(7) 学校との連携	P 32
(8) ボランティア活動	P 33
(9) 「椅子」の有効活用	P 34

令和5年度 事業実施状況

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年間を4つの会期に分け、会期毎に名品を核とした「セレクション」コーナーや多彩なテーマを掲げたコーナーを設定し、作品の魅力を紹介する（一部、借用作品を含む）。
 （※有料観覧者数には、企画展観覧券付属の招待券で入場した人数を含む。）

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション：企業の支援によるコレクション」 埼玉りそな銀行（旧埼玉銀行）のご支援で開館当初に収蔵された主な作品を取り上げ、当館のコレクションの形成について振り返る。埼玉りそな銀行開業20周年に関連した展示。</p> <p>○「MOMASノ海」 埼玉に、潮の薫りを。海をテーマにした作品を紹介。</p>	47点	自 5月13日（土） 至 8月27日（日） （86日間） ※7月15日～8月27日は、MOMASコレクションの観覧料を無料とする「埼玉りそな銀行フリーデー」を実施。	13,301人 1日当たり 155人 うち有料観覧者数 3,844人 1日当たり 45人 （※参照）
<p>○「セレクション」 モーリス・ドニ、瑛九ほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「特集：須田剋太」 埼玉出身の画家・須田剋太は、生命感あふれる力強い抽象画を数多く制作した。当館の須田剋太コレクションを紹介。</p>	60点	自 9月2日（土） 至 11月26日（日） （76日間）	9,008人 1日当たり 119人 うち有料観覧者数 5,755人 1日当たり 76人
<p>○「セレクション」 モネほか、MOMAS コレクションの名品を紹介。</p> <p>○「魅惑のリアリズム」 倉田弟次郎、上田薫など近現代の作家による「リアル」な表現に注目し、その多彩な魅力を紹介。</p>	36点	自 12月2日（土） 至 令和6年 2月25日（日） （68日間）	4,723人 1日当たり 105人 うち有料観覧者数 3,076人 1日当たり 68人 （1月31日時点 : 45日間）

内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
<p>○「セレクション」 ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「チェアーズー椅子の美術館」 当館が所蔵するデザイン椅子を一挙公開。「椅子の美術館」としての歩みをたどる。</p> <p>○「さいきんのたまもの」 田中保や正木隆の作品など、近年の新たな収蔵品を紹介。</p>	一点	自 令和6年 3月2日（土） 至 令和6年 6月2日（日） （78日間）	一人 1日当たり 一人 うち有料観覧者数 一人 1日当たり 一人

(2) サンデー・トークの開催

MOMASコレクションで展示中の収蔵作品から1点を選んで、当館学芸員が解説する。

- ①5月21日（日）担当：平野学芸員／解説作品：パブロ・ピカソ《静物》／トークのポイント：時代背景・造形的特徴・ピカソとマチスの関係性／参加者数 25人
- ②7月16日（日）担当：五味学芸員／解説作品：スクリプカリエウ落合安奈《Blessing Beyond the Borders》／トークのポイント：舞台設定の解釈・制作に込めた作者の意図／参加者数 14人
- ③8月27日（日）担当：吉岡学芸員／解説作品：マルク・シャガール《二つの花束》／トークのポイント：時代背景・シャガールの画業と本作品の位置づけ・描かれたモチーフについて／参加者数 32人
- ④10月8日（日）担当：大越学芸員／解説作品：須田剋太《作品 1984白》／トークのポイント：作品名称について・作者の抽象表現の特色／参加者数 22人
- ⑤11月26日（日）担当：鳴原学芸員／解説作品：ポール・シニャック《アニエールの河岸》／トークのポイント：舞台設定について・シニャックの最新研究の紹介／参加者数 25人
- ⑥1月28日（日）担当：菊地学芸員／解説作品：牧野虎雄《晚き夏》／トークのポイント：作者の画業について・本作の特色の紹介／参加者数 20人
- ⑦2月18日（日）担当：佐藤学芸員／解説作品：小島喜八郎《草冬》／トークのポイント：作者の画業について・写実的な表現技法の紹介／参加者数 23人
- ⑧3月3日（日）予定 担当：篠原学芸員／解説作品：クロード・モネ《ルエルの眺め》／トークのポイント：-／参加者数 -人

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示する。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
戸谷成雄 彫刻	戸谷成雄（1947-）は1970年代から彫刻家としてのキャリアをスタートさせ、戦後の日本美術における彫刻表現を牽引してきた。本展では初期作品のほか、「森」、「ミニマルバロック」シリーズを含む代表作を紹介し、その活動の全貌を振り返る。	39 点	自 2月25日（土） 至 5月14日（日） （69日間／ R5年度・39日間）	令和5年度観覧者 5,417人 1日当たり 138人 うち有料 観覧者数 3,189人 1日当たり 81人 R4・R5 観 覧者数計 7,996人
横尾龍彦 瞑想の彼方	横尾龍彦（1928-2015）は、日本とドイツを往来しながら活躍した画家である。1960年代後半、神話や聖書を題材とした幻想画を描き、澁澤龍彦や種村季弘ら著名人に認められた。1980年以降には、禅やルドルフ・シュタイナーの思想に影響を受け、瞑想によって湧き上がるイメージを、絵具の激しい飛沫やダイナミックな描線によって抽象的に表現するようになった。晩年は埼玉県内のアトリエを拠点に、制作やワークショップに尽力しました。本展では、その活動の全貌を紹介する。	146 点	自 7月15日（土） 至 9月24日（日） （65日間）	7,868人 1日当たり 121人 うち有料 観覧者数 4,282人 1日当たり 65人

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
イン・ビトウィーン	近年当館の収蔵作家となった早瀬龍江、ジョナス・メカス、林芳史に、ゲスト・アーティストとして潘逸舟を加えた4名の作家に焦点を当てる。自身の身体的な感覚を抛りどころに、日常や歴史、国境などさまざまな境界の間に立ち、往還を試みるアーティストたちの眼差しを紹介する。	104点	自 10月14日(土) 至 1月28日(日) (85日間)	8,500人 1日当たり 100人 うち有料 観覧者数 4,659人 1日当たり 71人
アブソリュート・チェアーズ	私たちの身近な存在である椅子は、権威の象徴として、記憶の依り代として、あるいは拡張された身体として、様々な意味や象徴性をまとっている。アーティストたちは椅子がもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきた。本展では、椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品を紹介し、現代美術のなかの椅子の機能や含意を読み解く。	83点	自 2月17日(土) 至 5月12日(日) (76日間/ R5年度・38日間)	約7,000人 (R5年度 見込)

(2) アーティスト・プロジェクトの開催

MOMAS コレクションや企画展の枠を超え、現在活躍しているアーティストを紹介する展示プログラムとして開催する。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
アーティスト・プロジェクト#2.07 永井天陽 遠回りの近景	永井天陽（1991-）は、アクリル材や剥製、既製品など、異なる素材を重ね合わせることで、多重の境界をもつ彫刻作品を制作してきた。内と外が主張し合いながら一体化する作品群は、表層とかたち、輪郭の関係を揺らがせ、日常の認識を問いかける。本展示では、永井の最新作を交えたインスタレーションを館内各所で行う。	25 点	自 10月14日（土） 至 1月28日（日） （85日間）	—

(3) 関連事業等の開催

企画展について理解を深めるため、関連事業等を開催している。

ア 横尾龍彦 瞑想の彼方

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
9月10日（日）	特別対談 鎌田東二氏 ×水沢勉氏	鎌田東二（京都大学名誉教授）×水沢勉（神奈川県立近代美術館館長）	60人	97人

イ イン・ビトウィーン

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
10月14日（土）	アーティスト・トーク	潘逸舟（本展出品作家）× 長島有里枝（アーティスト）	80人	60人
11月12日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（第1回）	プログラム：「いまだ失われざる楽園、あるいはウーナ3歳の年」「富士山への道すがら、わたしが見たものは…」	60人	45人

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
12月3日（日） 、10日（日） *2回連続	ワークショップ「見つめる窓」	潘逸舟（本展出品作家）	10人	3日（日） ：9人 10日（日） ）：6人
12月24日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（第2回）	プログラム：「アンディ・ウォーホルの授賞式」「楽園のこちら側」ほか	60人	81人
12月24日（日）	ジョナス・メカス映像作品上映会（ゲストによるトーク）	清原惟（映画監督・映像作家）×井戸沼紀美（「肌蹴る光線」主宰）	60人	65人

ウ アブソリュート・チェアーズ

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
2月23日 （金・祝）	座談会「美術のなかの椅子なるもの」	山口恵里子（筑波大学教授）×建島哲（当館館長）×鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）×佐伯綾希（当館学芸員）	80人	—
3月10日（日）	パフォーマンス+トーク+上映会	石田尚志（本展出品作家）	80人	—

(4) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員による展示解説を実施している。

企画展	実施日	参加人数
横尾龍彦 瞑想の彼方	7月15日（土） 8月6日（土）	26人 27人
イン・ビトウィーン	1月13日（土）	30人
アブソリュート・チェアーズ	3月23日（土）	—

(5) さいたま国際芸術祭2023との連携

企画展「イン・ビトウィーン」と「アーティスト・プロジェクト#2.07 永井天陽 遠回りの近景」について、「さいたま国際芸術祭 2023」（会期：10/7-12/10、主催：さいたま国際芸術祭実行委員会）と連携して事業を実施した。芸術祭の会期中、芸術祭のチケット購入者に当館を含む連携施設の割引クーポンの配布や芸術祭会場施設を巡るスタンプラリーへの参加等を行った。

実績

- ・割引クーポン利用者数：401人
（企画展「イン・ビトウィーン」観覧者数：5,137人 *12月10日まで）
- ・スタンプラリー参加者数（当館）：57人
（スタンプラリー参加者数（全体）：350人）

(6) ミュージアム・シアターの開催

映画や音楽、パフォーマンスといった、展覧会での紹介が難しい表現について取り上げるプログラムとして、テーマを定めて開催する。

令和5年度は「女性たちの映像表現」をテーマに実施する。

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
3月17日（日）	上映作品：マヤ・デレン「午後の網目」、出光真子「加恵、女の子でしょ！」、清原惟「ひとつのバガテル」ほか	—	80人	—
3月24日（日）	上映作品：マヤ・デレン「午後の網目」、出光真子「主婦の一日」、清原惟「わたしたちの家」ほか ゲストによるトーク（上映終了後に開催）	清原惟（映画監督・映像作家）×中西香南子（国立映画アーカイブ 特定研究員）	80人	—

3 美術作品収集事業

近現代美術を対象に、本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を収集している。令和5年度は、9月22日に第1回美術資料選考評価委員会を対面審議にて開催し、下記の通り寄贈と寄託による作品収集を行った。（購入による収集はなし。）なお、令和6年1月25日～2月6日に第2回美術資料選考評価委員会を持ち回り審議にて開催し、受入手続を進める。

◆寄贈（26点）

令和6年1月31日現在

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
1	立体その他	彦坂尚嘉	史律におけるプラクティス 7	1976(昭和51)年	ビニール、ニス、木	2
2	立体その他	彦坂尚嘉	史律におけるプラクティス 8 P.W.P. 1	1976(昭和51)年	クリア・アクリル、木	2
3	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.25	2022(令和4)年	ペン、カーボン紙、紙	2
4	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.26	2022(令和4)年	ペン、カーボン紙、紙	2
5	ドローイング	文谷有佳里	drawing 2022.6.27	2022(令和4)年	ペン、紙	2
6	ドローイング	文谷有佳里	なにもない風景を眺める 2010.10.21	2010(平成22)年	ペン、紙	2
7	ドローイング	文谷有佳里	なにもない風景を眺める	2012(平成24)年	ペン、韓紙	2
8	写真	佐野陽一	reservoir(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
9	写真	佐野陽一	flow(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
10	写真	佐野陽一	flow(秋日)	2015-22(平成27-令和4)年	発色現像式印画	2
11	写真	森村泰昌	花と包丁	1990(平成2)年	タイプCプリント	2
12	油彩画	須田剋太	ざくろ	1930年代前半	油彩、カンヴァス	1
13	油彩画	須田剋太	妙義山	1941(昭和16)年	油彩、カンヴァス	1
14	油彩画	須田剋太	二月堂	1942-45(昭和17-20)年頃	油彩、カンヴァス	1
15	油彩画	須田剋太	読書する男	1939(昭和14)年	油彩、カンヴァス	1
16	油彩画	須田剋太	あやめ	1941(昭和16)年	油彩、カンヴァス	1
17	油彩画	須田剋太	神将	1942(昭和17)年	油彩、カンヴァス	1
18	ドローイング	須田剋太	地獄谷線刻仏	1956(昭和31)年	グアッシュ、紙	1
19	ドローイング	須田剋太	男の像	1936(昭和11)年	グアッシュ、墨、鉛筆、コンテ、紙	1
20	ドローイング	須田剋太	《老人像》習作	1941(昭和16)年頃	コンテ、鉛筆、墨、紙	1
21	ドローイング	須田剋太	妙心寺法堂	1942(昭和17)年	鉛筆、グアッシュ、コンテ、墨、紙	1
22	ドローイング	須田剋太	神将 摩虎羅	1942(昭和17)年	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
23	ドローイング	須田剋太	大磯千畳敷裏山	1938(昭和13)年	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
24	ドローイング	須田剋太	寺	1940年代前半	コンテ、鉛筆、水彩、紙	1
25	ドローイング	須田剋太	かぼちゃ	1940年代前半	グアッシュ、コンテ、紙	1
26	資料	瑛九	手鏡を持つ女	1954(昭和27)年、複製:1984(昭和59)年	ゼラチン・シルバー・プリント	1
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品 3 本県美術文化の振興に寄与する作品 4 上記の作家及び作品を理解する上で必要とする資料						

◆寄託（5点）

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
1	ドローイング	ポール・セザンヌ	シャトー・ノワールの近くの高台から見たサント＝ヴィクトワール山	1900-02年	鉛筆、水彩、紙	2
2	ドローイング	武内鶴之助	ロンドン郊外の夕暮	1910-12(明治43-大正元)年	パステル、紙	1
3	ドローイング	武内鶴之助	伊豆の海岸	1940(昭和15)年	パステル、紙	1
4	日本画	菊沢武江	秩父御巡幸絵巻	1956(昭和31)年	彩色、絹	1
5	日本画	菊沢武江	東宮同妃熊谷行啓絵巻	1965(昭和40)年頃	彩色、絹	1
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品 3 本県美術文化の振興に寄与する作品 4 上記の作家及び作品を理解する上で必要とする資料						

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術および関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催する。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとする。

期 日	内 容	講 師	定員等
3月16日 (土)	日本画の表装文化— 古美術から現代絵画 まで	稲崎昌仁 (「経新堂 稲崎」表具師)	・定員：80人 ・参加費：無料

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2名以上の団体を対象に、スライドによる案内（「スライド・トーク」）を行う。内容は、展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応する。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドや講座も受け付けている。

(1月31日現在、今年度の実施なし)。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

開室日時：火・木・土曜日の13時～17時

資料相談数： 86件 (1月31日現在)

利用者数： 1,339人 (1月31日現在)

(4) 広聴広報活動

ア 来館者の意見を美術館活動に反映していくため、アンケートコーナーを設置。

併せて、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等でアンケートを実施。

○企画展アンケート

- ・「戸谷成雄」(2/25-5/14) /満足度 95%

(主な意見)

初めて戸谷さんの作品を見た。初期のころから最近のものまでを見ることで、変化や流れを感じられてすごくよかった。一日ながめていたくらい。／戸谷氏の仕事を概観することができて、すばらしい展示だった。秩父をモチーフとしたシリーズがあることを知り、とてもうれしく感じた。今後とも現代の美術・彫刻作品の企画に期待する。／とてもすばらしい展示だった。写真は一部OKでもよいと思う。シャッター音が多くて気になった。

- ・「横尾龍彦」(7/15-9/4) /満足度：96%

(主な意見)

ギャラリートークがとてもわかりやすかった。展示もわかりやすい。とても素晴らしい展覧会だと思う。／ぐるっとパスできた。殆ど知らない人だったが大変よかった。新しい出会いに感謝する。／対談に参加した。たいへんよかった。／整理券の発行があっても良かったのではと思った。

- ・「イン・ビトウィーン」(10/14-1/28) /満足度：89%

(主な意見)

専門的な内容だが、1970年代の日本の前衛から戦後の前衛、そしてジョナス・メカスへと至る構成は芸術(美術)の創造行為の本質に迫ろうとするチャレンジフルな展示だと思った。／企画展とても良かった。あまり期待はしていなかったのも、その分収穫という感想を持った。4人のそれぞれの作家の個展をつなげるような構成のように思いながら、タイトルにあるようそれぞれの連関性が感じられ、そのあたりに、企画の妙を感じ取った。／内容が前衛的でよくわからなかった。

○MOMAS コレクションアンケート

- ・5/13-8/27 満足度：96%

海にちなんだ様々な時代の作品と、詩などの文学が美しく展示され、何度でも拝見したいと思った。／コレクション展として秀逸だった。埼玉りそな銀行にも感謝する。

- ・9/2-11/26 満足度：99%

初めて訪れたが、有名な画家の作品が何点もあり、驚いた。期間に展示も変わると思うので、また来たい。／広い展示場所だったので大きい作品を離れた場所から見ることができてとてもおもしろかった。須田作品は勝手に頭の中でタイトルをつけて楽しんだ。こんなに安価な入場料で申し訳ない。

○MOMAS のとびらアンケート

- ・満足度 97% (事前申込制のプログラムに限る)

- ・2023/12/9、16 みる+つくる「みえる?みえない?感じて!『間の世界』」

中の世界と外の世界でいろいろなちがいがみつかった。(小2)

自分が作った作品の中に入ってみたい!(小2)

- ・2023/6/24、7/1 工房「まるまるあなただけのランプシェードをつくろう!」

作品をみるのがたのしかった。くらやみのなかでみるのがとてもきれいでおもしろかった。(小1)

作るだけでなく彫刻を見てから制作に入ることができてよかった(大人)

○ミュージアム・シアター及びミュージアム・レクチャーは、3月実施予定。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望に対し、随時回答を行う。
実績値：235件(令和6年1月31日時点)

ウ 広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国の美術館等に配布する。

実績値：約 4,000 箇所年に 6 回配布

エ 美術館ホームページや X、Facebook、YouTube を活用して、企画展や MOMAS コレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。

実績値（令和 6 年 1 月 31 日時点）

○X：R5 更新数 275 回、総フォロワー数：27,391 人

○Facebook：R5 更新数 74 回、総フォロワー数：3,353 人

○YouTube：R5 更新数 3 回、総再生数：139,755 回

オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB 等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。

実績値：プレスリリース：3 回、報道発表：5 回、プレス内覧会：3 回

各種メディアによる記事化：115 件（令和 6 年 1 月 31 日時点）

カ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを発信する。

キ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR 東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

ク 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

ケ 観覧料無料サービス

(1) 7 月 15 日（土）～8 月 27 日（日）

埼玉りそな銀行開業 20 周年にちなんで、「埼玉りそな銀行フリーデー」として MOMAS コレクション観覧料無料サービスを実施。

(2) 県民の日に、MOMAS コレクション観覧料無料サービスを実施。

コ 国立国会図書館によるデータベース「ジャパンサーチ」に収蔵作品の情報を提供し、一般に公開する。

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進するため、下記の事業に協力する。
(大雨の影響により、主催者の判断で中止。)

期 日	内 容	場 所	客席	参加者数
令和5年 6月3日(土) ※中止	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	—	—

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんや未就学児など、乳幼児のお子様と一緒にゆっくり作品を観覧していただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。

期 日	内 容	参加者数
令和6年 2月20日(火)	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	—

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催する。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」の協力を得て実施する。アーティストを講師に招くこともある。

令和3年度より、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、より安全に実施できるプログラムに絞って、全て事前予約制で実施することとした。各回の定員を少人数にすることで参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行うようにした。

令和5年度は人数制限を緩和しながら、事前予約制で実施している。また、一部プログラムは予約なしで参加できるようにしている。

ア 「みる+つくる」

MOMAS コレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 5月20日	「作品をみつめて…額縁をつくろう！」	18人	13人
10月28日	「世界にひとつ！喜びの自分旗をつくろう！」	〃	12人
11月 4日	※10月28日と同様。	〃	16人
12月 9日	「みえる？みえない？ 感じて！『間の世界』」	〃	17人
12月16日	※12月9日と同様。	〃	17人

イ 「親子クルーズ」

MOMAS コレクションや企画展を親子で鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 7月15日	「不思議な果実！君の中身はなんだろう？」	10組	18人
7月22日	※7月15日と同様。	〃	18人
令和6年 2月 3日	「身近なものでつくろう 魅惑のウェア！」	9組	—
2月10日	※2月3日と同様。	〃	—

ウ 「み～っけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 6月 3日	「MO “MAほうつかい” がMOMASをそめる！」	6組	13人
6月10日	※6月3日と同様。	〃	12人
11月25日	「MOMASで紙の上の運動会！」	〃	14人
12月 2日	※11月25日と同様。	〃	14人

エ 「工房」

美術館ならではの作品づくりを楽しむプログラム。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 6月24日	「まるまる穴だらけのランプシェードを作ろう」	18人	15人
7月 1日	※6月24日と同様。	〃	13人
令和6年 1月20日	「絵画の中から飛び出して！」	〃	14人
1月27日	※1月20日と同様。	〃	14人
3月 2日	— 調整中 —	〃	—
3月 9日	— 調整中 —	〃	—

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞する。彫刻ボランティアが講師として活動する。

期 日	内 容	定員	参加者数
令和5年 4月29日	「あらって見よう！彫刻作品」	4組	11人
5月13日	雨天のため中止	〃	—
9月 9日	雨天のため中止	〃	—
9月16日	「あらって見よう！彫刻作品」	〃	7人

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも気軽に参加できるプログラムを実施する。

プログラムの内容や会場等に応じて、時間制で複数回実施する。

期 日	内 容	参加者数
令和5年 4月 8日	「洗濯ばさみで絵をかこう！」 「わくわく鑑賞ツアー」	57人
4月22日	「キラキラ・カチカチ・スプーンワールド」 「わくわく鑑賞ツアー」	45人
5月 6日	「風を描こう！」 「カクカクつなげて遊ぼう！」	191人
10月 7日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「お顔をトレース★肖像画！」	132人
令和6年 1月13日	「アート★ビンゴ」	61人

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 8月 5日	「ガムテープのズック屋さん！」 (段ボールと新聞紙でオリジナルの靴をつくる。講師：佐藤いちろう氏)	18人×2部	29人
8月12日	フリープログラムDAY	内容によって異なる	212人
8月19日	「王冠をつくろう！」 (講師：平島鉄也氏)	18人	16人
8月26日	「みる+つくる サマー・アドベンチャー特別版 横尾龍彦さんになりきろう！－無意識から生まれる 色とかたち－」	18人	15人

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年 11月14日 (火)	「キラキラカチカチ★スプーンワールド」 「わくわく鑑賞ツアー」「風を描こう！」	—	330人

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるよう、ボランティアを活用して情報提供やアドバイス等を行う。

※小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催 (7/15～8/29、41日間)

令和5年度利用者：2,783人

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中に3回程度、各回午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。

令和5年度は、8月11日 (金・祝) に実施。参加者55人。

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和5年8月 3日 (木)	「造形遊びをとおして図工の時間をアップデートさせよう！」 (講師：石上城行／埼玉大学教育学部芸術講座 教授)	20人	24人
令和5年8月10日 (木)	「色、いろ、イロで、空を舞う！」 (講師：代 淳子／行田市立太田中学校 教諭)	24人	23人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらう。

(3) 博物館実習生の受入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、学芸員志望の学生向けに実習を行う。

実習期間は合同実習（7月下旬の4日間）と個別実習（7月末から8月末までの間の3日間）の合計7日間で、20人を受け入れた。（定員20人）

令和5年度は7月18日～7月21日に個別実習を行い、7月22日から8月31日に合同実習を行った。

実習では主に以下の内容をもとにカリキュラムを組んでいる。

- 美術館全般について（学芸、管理、施設見学等）
- MOMASコレクション（常設展）について
- 企画展の概要・実務・関連事業等について
- 美術資料の収集と保存について
- 作品・図書等の取り扱いについて
- 学校・教育普及事業の概要・学校との連携・「MOMASのとびら」・ボランティア制度について
- 広報と刊行物について

(4) 学校を含めた団体利用の受入れ

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

- ① 1階展示室「MOMASコレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」体験
- ⑥ アートカードを使った鑑賞
- ⑦ バックヤード見学

実績：31校（1月31日現在）

(5) 学校への授業協力

以下の内容の他、実態やねらいに合わせて出張授業を行っている。

- ① 「知ってる？ピカソ！」
- ② 「日本画って何だろう？」
- ③ 「みつめよう！シャガールさんのこの思い」
- ④ 「見て★座って！お気に入りの椅子を見つけよう！」
- ⑤ 「洗濯ばさみで絵を描こう！」

実績：34学校（1月31日現在）

(6) 研修協力

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行っている。

実績：8校（1月31日現在）

(7) 学校等への複製画やアートカードの貸し出し

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材を貸し出している。

実績：30校（1月31日現在）

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校をアーティストと共に訪問してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝える授業を実施。

令和5年度は2校で実施。

- ・2月8日（木）「影のワークショップ」

講 師：美術家 青木聖吾／実施校：三郷市立前谷小学校

- ・2月21日（水）「丸シールでいろいろな世界を描こう！」

講 師：現代美術家 大村雪乃／実施校：戸田市立美谷本小学校

(9) 公募プログラム

「みつめて、かんじて、たべてみて！-作品のみかた・味わいかた」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラムを実施。

令和5年度は4点の課題作品から1点を選び、作品からわき上がった「食」のイメージを描くプログラムとして実施。

応募作品から7点の受賞作品を選考し、表彰式及び総合グランプリの作品をもとに創作した料理を試食するイベントを開催した。

なお、表彰式及び試食イベントの様子は美術館ホームページでも紹介している。

（公募展の様子：<https://pref.spec.ed.jp/momas/kouboten>）

応募作品：129点 表彰式／試食イベント：11月19日（日）

受賞作品7点はパネル展示、その他応募作品すべてを館内1階ギャラリーに展示した。

（展示期間：11月14日（火）～1月28日（日））

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足し、当館が月1回開催する研修会へ参加するとともに、自主的な研修を重ねている。主な活動として、「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内にて作品解説を行う。

※令和5年度登録者数：31人

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心をもつ学生等が参加し、毎年6月中旬～7月初めに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。

※令和5年度登録者数：新規26人、継続48人、合計74人

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」にて、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。

令和5年度は、春季と秋季に2回ずつ実施する。春季は4月29日と5月13日、秋季は9月9日と9月16日に実施。（ただし、5月13日、9月9日は雨天のため中止）

※令和5年度登録者数：8人

9 「椅子」の有効活用

当館が収集している国内外のグッド・デザインの椅子を、入館者に自由に鑑賞してもらおう。これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせ、定期的に入れ替えを行い、常時20から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介している。また、学校への授業協力等でも活用している。

10 一般展示室の利用状況

地下の一般展示室4室を貸出し、県民の創作活動を支援している。

令和6年1月31日現在

No.	展覧会名	開催期間 令和5年度		開催 日数 (日)	利用室	分 野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	扇面書画の世界	4月4日	4月9日	6	2	書、水墨画	114	600	100
2	2023 阿佐見昭彦写真展 記憶の迷宮	4月4日	4月9日	6	3	写真	38	732	122
3	溪水会展	4月4日	4月9日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画	49	587	97
4	第38回さいたま蘭秀展	4月11日	4月16日	6	1	書	54	604	100
5	主体美術武蔵野作家展	4月11日	4月16日	6	2・3	油彩、アクリル	75	596	99
6	第9回彩友会ポタニカルアート展	4月11日	4月16日	6	4	水彩	56	742	123
7	群炎埼玉支部展	4月18日	4月23日	6	2	水彩、油彩、工芸、写真、創作人形	65	477	79
8	細田喜代美展	4月18日	4月23日	6	3	油彩	31	464	77
9	ヨシズミトシオ個展	4月18日	4月30日	12	4	油彩、版画、水墨画	44	1,037	86
10	第46回埼玉女流工芸展	4月25日	4月30日	4	1	工芸	123	880	220
11	第17回フォト・トルトゥーガ写真展	4月25日	4月30日	6	2	写真	54	790	131
12	矢部彰日本画展 ―晩年を生きる私の心の色―	4月25日	4月30日	6	3	日本画	50	309	51
13	第26回埼玉二科展	5月2日	5月7日	6	1~4	水彩、油彩、彫刻、デザイン	109	1,460	243
14	第71回「県展」	5月31日	6月22日	20	1~4	日本画、油彩、彫刻、工芸、書、写真	1,839	18,011	900
15	第42回埼玉県高等学校写真連盟写真展	7月4日	7月9日	6	1	写真	500	1,081	180
16	第28回基の会展	7月4日	7月9日	6	2	油彩	17	394	65
17	第33回白の会展	7月4日	7月9日	6	3	油彩	26	458	76
18	第21回埼玉独立展	7月11日	7月16日	6	1	油彩、アクリル	59	595	99
19	2023埼玉モダンアート展	7月11日	7月16日	6	2・3	水彩、油彩、版画、スペースアート	34	586	97
20	明鏡止水展（付 鴻雁）	7月11日	7月16日	6	4	アクリル	42	529	88
21	第49回埼玉二紀展	7月18日	7月23日	6	1~4	油彩、彫刻	89	1,006	167
22	工藤信芳展	7月25日	7月30日	6	2	水彩、油彩、コラージュ	54	386	64
23	Sakura Isono 原島辰男 二人展	7月25日	7月30日	6	4	写真、アクリル	46	559	93
24	高桑昌作画業50周年記念 第5回「自己分析展」	8月1日	8月6日	6	1	ミクストメディア	66	685	114
25	第32回旺玄会埼玉支部展	8月1日	8月6日	6	2~4	日本画、水彩、油彩、版画、アクリル、ミクストメディア	79	680	113
26	第57回埼玉平和美術展	8月8日	8月13日	6	1~4	油彩、写真、工芸、インスタレーション	353	1,358	226
27	公募ZEN展第7回	8月15日	8月20日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸、写真、書	185	1,455	242
28	武蔵野写真（内野知樹）	8月15日	8月20日	6	4	写真	1,466	608	101
29	第35回豊芳展	8月23日	8月27日	5	1・3	書	448	922	184
30	第2回グループエスポワール絵画展	8月22日	8月27日	6	4	水彩、油彩	31	696	116
31	第61回公募新構造埼玉展	8月29日	9月3日	6	1	油彩、水彩、ドローイング、版画	69	682	113
32	ヨシズミトシオ個展	8月29日	9月10日	12	4	油彩、版画、水墨画	42	808	67
33	第36回埼玉創作展	9月5日	9月10日	6	1	日本画、水彩、油彩	62	624	104
34	現代中国芸術国際交流展 第5回目	9月5日	9月10日	6	2	水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻、水墨画	50	410	68
35	第66回埼玉書道展	9月15日	9月17日	3	1~4	書	712	950	316
36	第40回埼玉県写真サロン	9月19日	9月24日	6	1	写真	410	1,123	187
37	第15回フォトサークル・オプト写真展	9月19日	9月24日	6	2	写真	229	956	159
38	フォトグループWAVE 第37回写真展	9月19日	9月24日	6	3	写真	89	874	145
39	第13回ニコールクラブさいたま支部写真展	9月19日	9月24日	6	4	写真	41	758	126
40	ムサ美埼玉2023展	9月26日	10月1日	6	1	日本画、水彩、油彩	124	774	129

No.	展覧会名	開催期間 令和5年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)	
		自	至							
41	悠友展	9月26日	10月1日	6	2・3	水彩、油彩	58	541	90	
42	王 淑芝絵画展	9月26日	10月1日	6	4	日本画、墨彩画	76	473	78	
43	公募第55回第一美術協会埼玉支部展	10月3日	10月8日	6	1	水彩、油彩、彫刻、工芸、水墨画	142	951	158	
44	第56回埼玉三軌展	10月3日	10月8日	6	2・3	日本画、水彩、油彩	54	548	91	
45	第38回漢水会展	10月3日	10月8日	6	4	日本画、水彩、油彩	46	599	99	
46	第19回水彩連盟埼玉支部	10月10日	10月15日	6	1	水彩	49	817	136	
47	第22回美術協会純展埼玉支部展	10月10日	10月15日	6	2	水彩、油彩、ペン画	79	652	108	
48	黄綬褒章受章記念 和紙ファイバーアートの世界 山口幸子展	10月10日	10月15日	6	3	和紙	25	985	164	
49	第9回椿会創作人形展	10月10日	10月15日	6	4	工芸、創作人形	230	795	132	
50	海游舎書展	10月17日	10月22日	6	1	書	89	346	57	
51	第24回地平展	10月17日	10月22日	6	2	油彩、インスタレーション	45	471	78	
52	第38回アート現宇展	10月17日	10月22日	6	3	油彩、アクリルコラージュ	30	329	54	
53	全日写連浦和支部展	10月17日	10月22日	6	4	写真	33	473	78	
54	第44回太平洋埼玉展	10月24日	10月29日	6	1	水彩、油彩、版画、染織	99	699	116	
55	現代アート「実験02」展	10月24日	10月29日	6	2	油彩、工芸、ミクストメディア	87	537	89	
56	第41回キャンノンフォトクラブ浦和写真展	10月24日	10月29日	6	3	写真	46	493	82	
57	2023CAFネビュラ展 ※一般展示室4は11月5日まで	11月1日	11月12日	11	1～4	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、インスタレーション	90	3,105	282	
58	加藤 修絵画展	11月7日	11月12日	6	4	水彩、油彩	41	389	64	
59	第66回埼玉県高校美術展	11月15日	11月19日	5	1～4	日本画、水彩、油彩	866	3,361	672	
60	第62回埼玉県高等学校書道展	11月22日	11月26日	5	1～4	書	645	682	136	
61	第14回埼玉県障害者アート企画展	11月29日	12月3日	5	1・2	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画、 彫刻、工芸、写真	600	1,700	340	
62	アートミーティングatさいたま国際芸術祭	11月29日	12月3日	5	3					
63	南関東・甲信ブロック合同企画展2023	11月29日	12月3日	5	4					
64	第57回全日本書道芸術展	12月5日	12月10日	6	1・2	書	289	499	83	
65	何気ない日々の一期一会（野口泰久写真展）	12月5日	12月10日	6	4	写真	48	345	57	
66	永山佐和子水彩画展	12月12日	12月17日	6	4	水彩	40	786	131	
67	郷土を描く児童生徒美術展	12月23日	12月24日	2	1～4	水彩	120	606	303	
68	第26回凧の会展	1月9日	1月14日	6	1～4	日本画、水彩、油彩、彫刻、工芸	162	632	105	
69	第45回埼玉県書道人連盟役員 新春展・併催「大作展」	1月16日	1月21日	6	1～4	書	217	681	113	
70	文教大学教育学部学校教育課程美術専修卒業制作展	1月23日	1月28日	6	1	油彩、工芸、アクリル	13	704	117	
71	文教大学OB・OG展	1月23日	1月28日	6	3	日本画、水彩、油彩、彫刻	24	563	93	
72	アートでつながる作品展 第1回ファミスフェスティバル	1月23日	1月28日	6	4	日本画、水彩、油彩、工芸、写真	87	1,012	168	
							207日	合計	72,020人	347
							県展を除く 187日	※県展無	54,009人	288

埼玉県立近代美術館 一般展示室利用状況（年度別）

令和6年1月31日現在

年度		一般展示室					備考
		1 (612.8㎡)	2 (231.5㎡)	3 (138.9㎡)	4 (161.3㎡)	計 (1,144㎡)	
21	利用可能週	51	51	51	51	204	103件
	利用週	48	45	50	51	194	
	利用率	94.1%	88.2%	98.0%	100%	95.1%	
22	利用可能週	52	52	52	52	208	102件
	利用週	48	48	48	48	192	
	利用率	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	
23	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	46	46	48	47	187	
	利用率	90.2%	90.2%	94.1%	92.2%	91.7%	
24	利用可能週	51	51	51	51	204	113件
	利用週	45	49	50	51	195	
	利用率	88.2%	96.1%	98.0%	100.0%	95.6%	
25	利用可能週	19	19	19	19	76	40件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
26	利用可能週	19	19	19	19	76	44件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
27	利用可能週	47	47	47	47	188	112件
	利用週	45	44	46	47	182	
	利用率	95.7%	93.6%	97.9%	100.0%	96.8%	
28	利用可能週	48	48	48	48	192	104件
	利用週	43	37	42	46	168	
	利用率	89.6%	77.1%	87.5%	95.8%	87.5%	
29	利用可能週	47	47	47	47	188	100件
	利用週	44	38	40	42	164	
	利用率	93.6%	80.9%	85.1%	89.4%	87.2%	
30	利用可能週	47	47	47	47	188	92件
	利用週	39	37	36	38	150	
	利用率	83.0%	78.7%	76.6%	80.9%	79.8%	
元	利用可能週	43	43	43	43	172	86件
	利用週	38	34	35	40	147	
	利用率	88.4%	79.1%	81.4%	93.0%	85.5%	
2	利用可能週	39	39	39	39	156	40件
	利用週	16	12	15	22	65	
	利用率	41.0%	30.8%	38.5%	56.4%	41.7%	
3	利用可能週	50	50	50	50	200	61件
	利用週	29	25	24	28	106	
	利用率	58.0%	50.0%	48.0%	56.0%	53.0%	
4	利用可能週	46	46	46	46	184	85件
	利用週	37	39	39	42	157	
	利用率	80.4%	84.8%	84.8%	91.3%	85.3%	
5	利用可能週	37	37	37	37	148	72件
	利用週	33	32	31	35	131	
	利用率	89.2%	86.5%	83.8%	94.6%	88.5%	

※利用実績には県展を含む【R2及びR3を除く（未実施のため）】

令和5年度入館者数一覧（令和6年1月31日現在）

	展示事業										普及事業					貸館事業	
	入館者数	企画展示					企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMFアート 関連	資料閲覧室	一般 展示室	埼玉県美術 展覧会				
		MOMAS コレクション	戸谷茂雄彫 刻	横尾龍彦展 題の被方	イン・ピト ウィーン	アプソリュ ト・チェアーズ								企画展計			
開催期間	4/1(土) ～ 3/31(日)	4/1(土) ～ 5/14(日)	7/15(土) ～ 9/24(日)	10/14(土) ～ 1/28(日)	2/17(土) ～ 5/12(日)						4/4(火) ～ 1/28(日)	5/31(水) ～ 6/22(木)					
日 (日数)	252	39	65	85		189	10	6	70	-	123	20					
観覧者数 (人)	137,649	5,417	7,868	8,500		21,785	446	138	3,231	-	54,009	18,011					
1日当たり 平均	546	138	121	100		115	44	23	46		288	900					
有料	一般個人	5,431	2,733	3,641	3,574	9,948											
	一般団体	843	144	284	654	1,082											
	大高個人	436	307	341	370	1,018											
	大高団体	54	5	16	61	82											
合計 (人)	6,764	3,189	4,282	4,659		12,130											
無料	20,268	2,228	3,586	3,841		9,655											

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数 (人)	13,314	13,105	21,028	9,171	14,874	13,763	13,195	17,611	10,203	11,385			137,649

令和6年度 事業計画(案)

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション(常設展)の開催

年間を4つの会期に分け、名品を核とした「セレクション」のコーナーと、テーマを掲げたコーナーを設け、収蔵作品を様々な視点から紹介する。

◆会期：6月8日(土)－8月25日(日)

「セレクション」

ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。

「シュルレアリスム宣言100周年」

夢や無意識といったキーワードをもとに、シュルレアリスムの世界を紹介する。

◆会期：8月31日(土)－11月24日(日)

「セレクション」

モネほか、MOMASコレクションの名品を紹介。

「旅路の画家」

旅をテーマに、スケッチや版画、日本画などを紹介。

「さいきんのたまもの」

近年新たに美術館のコレクションに仲間入りした作品を紹介。

◆会期：11月30日(土)－令和7年3月2日(日)

「セレクション」

シャガールほか、MOMASコレクションの名品を紹介。

「戦後日本美術の開拓者たち」

企画展「没後30年 木下佳通代」の開催にあわせ、関西の作家を中心に、戦後の日本美術の動向を紹介。

「特集：木村直道」

廃品などを使いユーモアあふれる作品を生み出した、県内ゆかりの彫刻家・木村直道の世界を紹介。

◆会期：令和7年3月8日(土)－6月1日(日)

「セレクション」

シニャックほか、MOMASコレクションの名品を紹介。

「アメリカの美術家たち」

移動や越境をキーワードに、新天地あるいは故郷としてのアメリカ、芸術の実験場としての都市などの視点から、アメリカで活動した作家の作品を紹介。

(2) コレクション・トークの開催

MOMASコレクションで展示中の収蔵作品から1点を選んで、当館学芸員が解説する。(年10回程度実施予定)。

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
アブソリュート・ チェアーズ	私たちの身近な存在である椅子は、権威の象徴として、記憶の依り代として、あるいは拡張された身体として、様々な意味や象徴性をまとっている。アーティストたちは椅子がもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきた。本展では、椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品を紹介し、現代美術のなかの椅子の機能や含意を読み解く。	83 点	自 2月17日 (土) 至 5月12日 (日) (76日間/R6年度・38 日間)	約 6,100 人(R6年 度内見 込)
吉田克朗展 一ものに、風景に、 世界に触れる	吉田克朗 (1943-1999) は、1960 年代末に登場したものの派の中心作家として知られている。その一方、最初期から写真を素材にした版画を制作し、70年代半ばから風景の断片を描くドローイング、物体の転写やフロッタージュを通して絵画を模索した。80年代には風景や身体を抽象化した絵画連作「かげろう」を手がけ、その後、黒鉛を手でこすりつけて描く「触」のシリーズを精力的に制作する。本展では、埼玉県深谷市出身の吉田を初めて回顧し、その全貌に迫る。	約 150 点	自 7月13日 (土) 至 9月23日 (月・ 祝) (66日間)	約 10,700 人

展 覧 会 名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観 覧 者 見 込
没後 30 年 木下佳通代	<p>木下佳通代（1939-1994）は兵庫を拠点に活動した、関西の戦後美術を代表する作家のひとりである。1960年代半ばより、神戸で結成された前衛美術集団「グループ〈位〉」と行動をともにしながら、存在、認識、空間などをテーマに、三次元と二次元像のズレを写真やゼログラフィーで表現した。その後絵画へと軸足を移していくが、一貫して「存在とは何か」という哲学的な問いに向き合い続けた。本展では、初期から晩年までの代表作を展示し、国内初となる美術館での個展として、作家の全貌を紹介する。</p>	約 130 点	<p>自 10月12日（土） 至 1月13日（月・祝） (76日間)</p>	約 12,300 人
メキシコへのまなざし	<p>1950年代の日本では、メキシコ美術が盛んに紹介され、多くの美術家はその鮮やかな色彩や力強い造形表現に魅了された。当館では、開館以来メキシコの近現代美術を収集してきたが、その出発点には、50年代のメキシコ美術に対する熱いまなざしがあったと考えられる。本展では、メキシコに憧れた日本の美術家たちの足跡と、当館のコレクションの双方から、戦後日本がメキシコ美術をどのように捉えたのかを考察する。</p>	調整中	<p>自 2月1日（土） 至 5月11日（日） (88日間/R6年度・51日間)</p>	約 8,300 人(R6年度内見込)

(2) アーティスト・プロジェクトの開催

MOMAS コレクションや企画展の枠を超え、現在活躍しているアーティストを紹介する展示プログラムとして開催する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
アーティスト・プロジェクト#2.08 松平莉奈	京都を拠点に活動する松平莉奈（1989-）は、日本画や東洋の絵画の画材や技法をベースに、日本近世の史実や物語、歴史上の人物などを題材にした具象画を制作している。「他者について想像すること」をテーマとした松平が描く人物像は、時にユーモラスに、時に迫力をもって、決して完全にはわかりあえない他者への理解、共感を促す。本展では新作を中心に紹介する。	調整中	令和7年 自 2月1日（土） 至 5月11日（日） （88日間）	—

(3) ミュージアム・シアターの開催

映画や音楽、パフォーマンスといった、展覧会ではなかなか紹介できない表現について取り上げるプログラムとしてミュージアム・シアターを開催する（テーマ、実施時期等は調整中）。

(4) ミュージアム・カレッジの開催

埼玉大学との共催により、企画展に関連したテーマで連続講座を4回程度開催する。

3 美術作品収集事業

近現代美術を対象に、本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を収集する。

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術および関連領域に親んでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催する。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとする。

期 日	内 容	講 師	定員等
調整中	調整中	調整中	・定員：60人(予定) ・参加費：無料(予定)

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2名以上の団体を対象に、スライドによる案内（「スライド・トーク」）を行う。案内内容は、観覧する展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応する。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドも受け付ける。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

開室時間：火・木・土曜日の13時～17時

(4) 広聴広報活動

ア 来館者の意見を美術館活動に反映していくため、アンケートコーナーを設置する。併せて、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望に対し、随時回答を行う。

ウ 広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国の美術館等に配布する。

エ 美術館ホームページやX、Facebook、YouTubeを活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。

オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。

カ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを発信する。

キ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

ク 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

ケ 県民の日にMOMAS コレクション観覧料無料サービスを実施する。

コ 国立国会図書館によるデータベース「ジャパンサーチ」に収蔵作品の情報を提供し、一般に公開する。

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
令和6年 6月8日（土）	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	—	—

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんや未就学児など、乳幼児のお子様と一緒にゆっくり作品を観覧していただけるようMOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。

期 日	内 容	参加者数
調整中	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	—

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催する。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」の協力を受けて実施する。アーティストを講師に招くこともある。

各回の定員があり参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行う。

ア 「みる+つくる」

MOMAS コレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 5月18日	－ 調整中 －	18人	－
6月22日	〃	〃	－
10月 5日	〃	〃	－
10月26日	〃	〃	－

イ 「親子クルーズ」

MOMAS コレクションや企画展を親子で鑑賞し、それをもとに工作などを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 11月 2日	－ 調整中 －	6組	－
11月30日	〃	〃	－
令和7年 2月 1日	〃	〃	－
2月 8日	〃	〃	－

ウ 「み～つけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむプログラム。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 6月 1日	－ 調整中 －	6組	－
6月29日	〃	〃	－
12月14日	〃	〃	－
12月21日	〃	〃	－

エ 「工房」

美術館ならではの作品づくりを楽しむプログラム。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 7月 6日	－ 調整中 －	18人	－
7月20日	〃	〃	－
令和7年 1月18日	〃	〃	－
1月25日	〃	〃	－
3月 1日	〃	〃	－
3月 8日	〃	〃	－

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞する。彫刻ボランティアが講師として活動する。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 4月27日	「あらって見よう！彫刻作品」	4組	－
5月11日	〃	〃	－
9月21日	〃	〃	－
9月28日	〃	〃	－

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも参加できるプログラムを実施する。

プログラムの内容や会場等に応じて、時間制で複数回実施する。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 4月 6日	－ 調整中 －	調整中	－
4月20日	〃	〃	－
5月 4日	〃	〃	－
令和7年 1月11日	〃	〃	－

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 8月 3日	－ 調整中 －	調整中	－
8月10日	〃	〃	－
8月17日	〃	〃	－
8月24日	〃	〃	－

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和6年 11月14日（木）	－ 調整中 －	調整中	－

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行う。

※公立小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催（7/13～8/25）

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中に3回程度、各回午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
8月上旬	－ 調整中 －	各回30名程度	－

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらおう。

(3) 博物館実習生の受け入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、学芸員志望の学生向けに実習を行う。

(4) 学校を含めた団体利用の受入

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行う。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」等
- ⑥ アートカードを使った鑑賞
- ⑦ バックヤード見学

(5) 学校への授業協力（随時実施）

以下の内容の他、実態やねらいに合わせて出張授業を行う。

- ①「知ってる？ピカソ！」
- ②「日本画って何だろう？」
- ③「みつめよう！シャガールさんのこの思い」
- ④「見て★座って！お気に入りの椅子を見つけよう！」
- ⑤「洗濯ばさみで絵を描こう！」

(6) 研修協力（随時実施）

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行う。

(7) 学校等への複製画やアートカードの貸し出し

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材を貸し出す。

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校をアーティストと共に訪問してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝えるための授業を展開する。（年2校での実施を予定）

(9) 公募プログラムの開催

「みつめて、かんじて、たべてみて！-作品のみかた・味わいかた」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラムを実施する。

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修を重ねている。主な活動として、「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、1階展示室内において作品案内を行う。

（参考：令和5年度登録：31人）

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心をもつ学生等が参加し、毎年6月中旬～7月初めに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。

（参考：令和5年度登録：74人）

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」にて、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。洗浄プログラムは、春と秋に実施予定。

(参考：令和5年度登録：8人)

9 「椅子」の有効活用

国内外のグッドデザインの椅子を、入館者に自由に鑑賞してもらう。

これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介している。また、学校への授業協力や「MOMASのとびら」プログラムでも活用する。

令和5年度 博物館施設 目標設定・評価シート

年度当初目標設定
中間評価(6月末実績)
年度末確定評価
1月末現在

施設名 近代美術館

I 自己点検・分析

- 1 館の使命・ビジョン
- 2 現状分析と課題の抽出
- 3 チェックリスト(自己点検表)

II 目標設定

- 1 中期重点目標と取組みの設定
- 2 単年度指標による数値目標と達成値
- 3 取組みの概要

III 評価

- 1 自己評価総括
- 2 外部評価委員等によるコメント

I 自己点検・分析

1 館の使命・ビジョン

- 1 美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。
- 2 人々が集い、参加し、交流するための基地となります。
- 3 未来を創る子供たちの感性と創造力を育みます。
- 4 地域や県民とともに進化する美術館を目指します。

2 現状分析と課題の抽出

・出会い・発見・感動をキーワードに、新たな視点に基づく企画展・常設展や美術の楽しさを体感できるプログラムの提供に努めているが、今後も更なる充実を図る必要がある。

・そのためには、美術資料収集基本方針に基づいた体系的なコレクションの形成を目指し、作品の継続的な収集と適切な保存に努めるとともに、美術館活動の基盤となる調査研究を重視しなければならない。

・美術館では、展示室に加え、レストランやミュージアムショップなども備えているが、より上質な空間とゆとりの時間を提供できるように工夫するとともに、高齢者・障害者を含め誰もが利用しやすく、居心地の良い環境となるように老朽化した施設設備の整備に努める必要がある。

・また、「MOMASのとびら」をはじめとする、子供向け教育・普及事業を積極的に実施しているが、子供たちが感性や創造力を生き生きと発揮できる事業の検討が求められている。

・地域の多様な主体との連携に取り組んでいるが、今後は、北浦和公園の整備と活用も含め、美術館が主体的に地域の賑わいや活性化に寄与することが求められている。

・社会のデジタル化に対応するため、収蔵作品のデジタル・アーカイブ化とその公開を進めるなど、デジタル技術を活用した取組を推進して新たな顧客層の開拓に努める必要がある。

II 目標設定

1 中期重点目標と取組みの設定

【中期重点目標】

- | | |
|------------------------------|---------|
| ① 美術資料の体系的な収集と適切な保存のための施設の確保 | 令和5～9年度 |
| ② 調査研究と企画展・常設展等の更なる充実 | 令和5～9年度 |
| ③ 利用者のための快適な環境づくり | 令和5～9年度 |
| ④ 子供たちの感性と創造力の育成 | 令和5～9年度 |
| ⑤ 地域の賑わいや活性化の創出 | 令和5～9年度 |
| ⑥ デジタル技術の活用の推進 | 令和5～9年度 |

【取組み】

- ① 美術作品取得基金における動産の買戻しへの働きかけと新収蔵庫等の確保
- ② 収蔵作家、埼玉ゆかり作家の調査研究とその成果を生かした展示等の実施
＜企画展・常設展の満足度 各年度90%以上＞
- ③ 美術館と北浦和公園の計画的な施設設備の整備
＜改修・修繕件数 R5:30件、R6:30件、R7:30件、R8:30件、R9:30件＞
- ④ 子供向け教育・普及事業の充実
- ⑤ 北浦和公園を活用した地域の賑わいや活性化を創出する取組の実施
- ⑥ 収蔵作品のデジタル画像(高精細画像を含む)の公開
＜公開画像件数 R5:1900件、R6:2300件、R7:2700件、R8:3100件、R9:3500件＞

I-3 チェックリスト(自己点検表)

施設名

近代美術館

(1)全館共通項目

項目	チェック内容	達成基準	
		達成度	課題等
		未実施、又は取り組まれていない	1
		実施しているが、取組みが不十分	2
		実施、又は達成している	3
資料収集	① 資料の収集方針、収集計画に基づき、資料収集を適切に行っているか	2	寄贈による作品収集は行っているが、予算上作品購入が困難な状況。
	② 映像資料や情報資料等を収集しているか	3	
資料の保存管理	① 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項に基づき、資料の保存管理を適切に実施しているか	3	
	② 資料の所在確認とともに状態の点検を定期的に行うなど、資料を適切に管理しているか	3	
	③ 資料の修復や保存処理等の措置を計画的あるいは必要に応じて行っているか	2	予算の範囲内で修復作業を行っているが、十分ではない。
	④ 資料のデータベースの情報を適宜更新し、公開しているか。	3	
資料活用	① 収蔵資料の館外貸出及び特別利用に適切に対応しているか。	3	
	② 収蔵資料をホームページやSNS等で紹介・更新しているか	3	
	③ 収蔵資料のデジタル・アーカイブ化(画像を含めた)に取り組んでいるか	3	作品情報は公開している。画像は、著作権者に意向を伺いながら、可能な作品は、公開の手続きを進めている。
常設展示	① 展示設備等を適宜点検しているか	3	
	② 常設展示は定期的に更新しているか。	3	
	③ 展示ガイドあるいは解説リーフレットを作成し、必要に応じて内容を更新しているか	3	展示替え毎に、閲覧できる解説カードを設置している。
	④ 展示解説等を適宜実施しているか	3	サンデートーク
	⑤ アンケート結果等を活かした展示改善を実施しているか	3	
	⑥ 日本語を母語としない入館者に配慮した案内表示や展示パネル表示、パンフレット等の配布を行っているか	2	館内サイン、常設展示の作品名は、英語表記等に対応済み。企画展のコーナー解説や掲出物の翻訳は一部に限る。
	⑦ 観覧者の満足度は得られているか	3	
学習支援・普及	① 誰もが参加しやすい普及事業を実施しているか(参加申込み方法・プログラム内容・サポート体制等)	3	
	② アンケートなど県民の意見をプログラムの開発・改善に取り入れる工夫をしているか	3	
	③ 来館者用の図書・情報コーナーを適切に運営しているか	3	
	④ 学芸員実習やインターンシップを積極的に受け入れているか	3	

項目	チェック内容			
情報発信	①	SNS等その他のあらゆる媒体を活用して、誰もが受け取ることができる情報発信に努めているか	3	
	②	資料その他の専門分野に関する調査研究の成果を生かした情報発信に努めているか	3	
	③	定期的に内容を更新し、常に新しい情報発信を行っているか	3	
	④	デジタル技術を活用したコンテンツの制作・公開に取り組んでいるか	3	著作権者に了解を得られた資料から順次、デジタル画像等を公開している。
県民との協働・地域連	①	ボランティア活動に関する規程に基づいて、適切に運用されているか	3	
	②	ボランティア研修を適切に実施しているか	3	
	③	外部団体が館事業に参加する機会を設けているか	3	
	④	地域で実施されるイベント等に積極的に関わっているか	3	
	⑤	地域の多様な主体との連携に取り組んでいるか	3	
調査研究	①	収蔵資料に関する調査研究に積極的に取り組んでいるか	3	
	②	資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	3	
	③	館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	3	
	④	学芸員の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	3	
	⑤	調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	3	
施設・アメニティー	①	施設の維持・改善についての計画を策定し、定期的に更新しているか	3	
	②	バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	3	
	③	一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	3	
	④	手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	2	トイレ等の音声ガイダンスは未実施。
	⑤	館内サインの英文標記など国際化への対応はとられているか	2	英・中・ハングル語のフロア案内のみにとどまっている。
	⑥	展示室内の安全性の確保(監視員の配置・監視カメラの設置等)に努めているか。	3	
施設の活用	①	施設利用のための情報を公開しているか	3	
	②	施設を一般及び学校団体等の利用に提供しているか	3	
	③	施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	3	
	④	施設利用が、地域や他施設・機関・学校等との連携に役立っているか	3	

施設名 近代美術館

(2)館別独自項目

達成基準				
未実施、又は取り組まれていない			1	
実施しているが、取組みが不十分			2	
実施、又は達成している			3	
項目	チェック内容		達成度	課題等
企画展示の実施	①	企画展の理解を深めるため学芸員や関係者による展示解説、講演会等を適宜実施しているか	3	
	②	展示内容に即した弾力的な広報活動を実践しているか	3	
	③	外部資金の導入に努力しているか	3	
	④	アンケート結果等を活かした展示改善を実施しているか	3	
教育普及および連携・支援活動の実施	①	美術や芸術全般に対する理解を深めるテーマを設定した事業を適宜実施しているか	3	
	②	授業や部活などの受け入れ体制を整備しているか	3	
	③	教員の資質向上を目的とした研修を実施しているか	3	
	④	学校への職員派遣など、授業協力を実施しているか	3	
	⑤	大学と協働して学生を適切に指導しているか	3	
地域・協力事業との交流	①	地域・他機関・他美術館との協力事業を実施しているか	3	
	②	企画展等を通じ国外美術館等と相互交流を図っているか	3	
	③	北浦和公園を活用した地域との交流・協力事業を実施しているか	3	彫刻あらいぐま、ポリスコ ンサート、自治会も含めた 公園の防災設備の使用 訓練等は実施。個人・近 隣企業のボランティアに よる植栽の手入れ等も実 施している。

施設名 近代美術館

Ⅱ-2 単年度指標による目標値と達成値

(1) 全館共通項目

	視点	項目	指標	目標値		達成率	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	使命1~4 全般的活用	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	259,500	人	54.2%	第3期教育振興基本計画を踏まえた目標値	
				140,743	人		1月末時点	
2	使命1 展示公開	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	35,000	人	90.2%	基準値: 34,998人 目標参考値: 34,998人	
				31,579	人		R4年4期4・5月分: 4,547人、R5年1期: 13,301人、2期: 9,008人、3期: 4,723(1月末時点)	
3	使命1~4 全般的活用	利用者数	1日当たりの利用者数	850	人	65.8%	(年間入館者+アウトリーチ)÷開館日数	
				559	人		(137,649人+3,094人)÷252日	
4	使命2・4 情報発信・活用	デジタル情報の利用状況	HPアクセス数	917,800	件	82.3%	基準値: 917,798件 目標参考値: 917,798件	
				755,287	件		1月末時点	
5	使命1~4 情報発信	広報活動	メディア掲載件数	270	件	40.0%	基準値: 268件 目標参考値: 268件	
				108	件		1月末時点	
6	使命1~3 活用・利用提供	経営努力	観覧料および事業等収入額	29,261,000	円	51.1%	* 当該年度予算計上額	
				14,948,580	円		使用料及び手数料 11,789,380円 財産収入 3,159,200円	

(2) 館別独自項目

	視点	項目	指標	目標値		達成率	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	使命1 展示公開	企画展観覧者	年間企画展観覧者数	43,172	人	50.5%	実施予定の企画展の予算積算人数	
				21,785	人		戸谷成雄(令和5年度)/5,417人、横尾龍彦/7,868人、イン・ビトウィーン/8,500人	
2	使命3 学校との連携	学校利用	学校団体の美術館利用校数	40	校	77.5%	基準値: 35校 目標参考値: 35校	
				31	校		1月末現在。(1月末時点で、3月までの予約校数2校)	
3	使命3 学校との連携	授業協力	学校での鑑賞授業の回数	50	校	68.0%	基準値: 46校 目標参考値: 46校	
				34	校		1月末現在。(1月末時点で、3月までの予約校数10校)	
4	使命3 子供向け事業	MOMASのとびら	MOMASのとびら参加人数	1,380	人	96.1%	基準値: 1,371人 目標参考値: 1,371人	
				1,326	人		28回実施(2回中止)	
5	使命1 満足度	アンケート	企画展・常設展の満足度	90%以上	%	100.0%	中期重点目標による取組	
				95.00%			企画展: 戸谷成雄(R5年度)95%、横尾龍彦96%、イン・ビトウィーン89% / 常設展: MOMASコレクション(5/13-8/27)96%、(9/2-11/26)99%	
6	使命2 施設設備の整備	改修・修繕	改修・修繕件数	30	件	73.3%	中期重点目標による取組	
				22	件		業者依頼分: 13件 職員対応分: 9件(トイレ手洗い修繕、照明交換、樹木枝落とし、地階トイレ等部品はがれ修理など)	
7	使命4 デジタル技術の活用	収蔵作品のデジタル画像	公開画像件数	1,900	件	78.9%	中期重点目標による取組	
				1,500	件		上半期は、主に各著作権者への意向確認、写真のスキャンングなどの作業を実施。年度末にまとめて公開作業を行う予定。	

※ 利用者数=常設展観覧者数+無料入館者数+アウトリーチ参加者数 常設展観覧者数=特別展・企画展観覧者数+常設展のみの観覧者数
 ※ 基準値: 過去5年間の最小値及び最大値を除いた分の平均値 目標参考値: 基準値と昨年度値を比較して大きい方の数値 目標値: 目標参考値の1の位を繰り上げた数値 ※ 目標値の設定については、経年の実績を同じ指標で比較することで、それぞれの年度の特徴づけをするために、新型コロナウイルス感染症による利用者への影響等を考慮しないで、例年通りの方法を採用した。

3 取り組みの概要

施設名 近代美術館

1 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

○ 利用者数、利用状況、広聴・広報、経営努力

新型コロナウイルスによる利用者の減少を回復させるため、企画展、常設展等のさらなる周知をはかる。

また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日から5類に変更されたことに伴い、館内各施設の収容人数制限が緩和されたことから、トークイベントや担当学芸員の作品解説会のほか、主催事業の参加者増加が見込まれる。

(2) 館別独自項目

○ 企画展

館HPやチラシの配布など広報活動により企画展内容の魅力発信を行い、入館者数の増に結びつけていく。

○ 学校との連携

広報活動等を積極的に行うことにより学校の美術館利用を促進し、限られた人員の中ではあるが、学校での鑑賞授業回数を増やしていく。

○ 子供向け事業

MOMASのとびらなどについて、新型コロナウイルス感染症による人数制限が緩和されることから、よりたくさんの参加者を募ることができるよう、内容の充実と広報活動を進める。

○ 情報提供サービス、インターネット活用などの利用状況

美術館に関心を持ってもらえるよう広報を充実させ、年間レファレンス対応件数を伸ばせるよう努めるとともに、ホームページの内容を魅力あるものを発信する。

○ 満足度

企画展・常設展については既に高い満足をいただいているところではあるが、今年度もさらに満足度が上がるよう、内容の充実を図っていく。

Ⅲ 評価

1 自己評価総括

(1) 評価

(2) 課題と対応の方向

2 外部評価委員等によるコメント